

令和2年度子ども・子育て支援推進調査研究事業

<調査研究報告書タイトル>

子育て支援員研修及び放課後児童支援員認定資格研修における研修の開催及び受講の促進等に関する調査研究

<実施主体名>

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

質の高い教育・保育及び地域型保育並びに地域子ども・子育て支援事業を提供するために、必要となる人材確保や従事者の資質向上を図るため、平成27年度より子ども・子育て支援体制整備総合推進事業において子育て支援員研修及び放課後児童支援員認定資格研修が実施されている。

本事業では、研修の受講が困難な方等が適切に研修受講ができる方策の検討や、映像等を盛り込んだ研修教材作成に関する内容や留意点の整理、教材サンプル版についてアンケート調査を実施し自治体の意見の整理を行い、研修の開催及び受講の促進等に資することを目的として実施した。また、有識者から構成される検討委員会及びWG（ワーキンググループ）を設置し、調査研究全般にわたって助言を得た。

子育て支援員研修及び放課後児童支援員認定資格研修の受講機会の拡大や研修受講の負担軽減に資するべく、平成30年度子ども・子育て支援推進調査研究事業「子育て支援員研修におけるe-ラーニングの受講方式の活用等に関する調査研究」及び令和元年度子ども・子育て支援推進調査研究事業で実施した「子育て支援員研修及び放課後児童支援員認定資格研修におけるe-ラーニング活用等による受講促進等に関する調査研究」の結果も踏まえ、研修の受講が困難な方等が適切に研修受講ができる方策を検討した。研修のあり方として、映像等の活用やe-ラーニングの活用の方法について、パッケージとして示した。具体的には、受講場所について3つのケース（集合研修、サテライト開催、自宅等）、時間の同期について2つの視点（ライブ配信、オンデマンド配信）を軸に、8つの研修開催方法をパッケージとして、留意点及びポイント等を整理した。

映像等を盛り込んだ研修教材作成に関する内容や留意点等として、自治体に対するアンケート調査により、新型コロナウイルス感染症の影響下での研修の開催状況や映像教材の活用可能性、集合研修以外の開催方法に関する実施状況や意識・意向を把握するとともに、有識者へのヒアリングを実施し、映像化する場合の留意点や工夫点を確認した。また、映像等を盛り込んだ研修教材を今後作成する際の参考として、子育て支援員研修の一部及び放課後児童支援員認定資格研修の全ての研修科目（実技・実習は除く）について、作成内容や留意点等を整理した。

今後の研究課題として、まずはサテライト方式による研修開催の事例を収集し、研修の運営方法や効果が参考となる事例については、ベストプラクティスとして広く研修実施主体等に周知し、効率的な研修の実施や研修開催の促進、研修機会の確保の促進につなげていくことが求められる。また、本調査研究において整理した映像等を盛り込んだ研修教材作成に関する内容や留意点等を参考に、国が中心となり映像等を盛り込んだ研修教材のモデル案の作成を進めていく（あるいは研修実施主体もしくは研修実施機関において映像等を盛り込んだ研修教材を作成する）ことが望まれる。また映像教材の活用の普及、内容や運用の高度化の進行と並行して、その次のステップに向けて、リモート（オンライン）での研修開催を試行し、効果や課題の検証の後、リモート（オンライン）研修の具体的な運用方法を整理していくことも重要な課題である。